アド・キャスト News 4月号 Vol. 64 DOMO! アド・キャスト 2016/3/29

■有効求人倍率(静岡労働局 季節調整値改定値)

県内の2月の有効求人倍率は1．25倍。※前月を0.01ポイント上回った。 リーマンショックは2008年9月

有効求人倍率の推移(静岡県・全国) ※2009年8月は0.42%(全国)であった

区分	2007年平均	2008年平均	2009年平均	2010年平均	2011年12月	2012年12月	2013年11月	2014年12月
静岡県	1.20	0.87	0.40	0.52	0.68	0.73	0.91	1.14
全国	1.02	0.77	0.45	0.56	0.71	0.82	1.00	1.14

※全国値を25ヶ月連続で下回った

区分	2015年7月	2015年8月	2015年9月	2015年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月
静岡県	1.18	1.18	1.20	1.23	1.24	1.25	1.24	1.25
全国	1.21	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28

〇静岡労働局が3月29日発表した有効求人倍率(季節調整値)は1.25倍となり、前月を0.01ポイント上回った。
→全国値を15か月連続で下回った。全国値は1.28倍(前月と同水準)。

〇新規求人倍率(同)は1.97倍となり、前月を0.02ポイント上回った。
→全国値を5か月ぶりに上回った。全国値は1.92倍(対前月差0.15ポイント低下)。

※平成28年2月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回り、6か月連続の1.2倍台となっている。
新規求人数(季節調整値)及び有効求人数(季節調整値)では前月比で増加し、対前年同月比(実数値)では、
新規求人数は10.3%増加し、有効求人数では70か月連続増加しており引き続き高い水準で推移している。
新規求職者数(季節調整値)及び有効求職者数(季節調整値)では前月比で増加したが、対前年同月比(実数値)
では、新規求職者数は8か月連続、有効求職者数では30か月連続減少している。

■トピックス

短期決戦 就活スタート(2017年春卒業の大学生:3月1日・会社説明会解禁)

2017年春卒業の大学生を対象にした会社説明会が3月1日解禁され、就職活動が始まった。企業の多くは面接などの選考活動が解禁される今年6月には内定を出すとみられ、昨年より2ヶ月短い「短期決戦」となる。経済連の指針が2年連続で変更され、学生の間では戸惑いの声が聞かれる。企業側は、説明会の回数を増やすなど新たな対応を模索している。
トヨタ自動車は17年春の卒業者向け会社説明会の回数を前年比約3割増やす。三井物産は東京都内のほか、関西でも開催を予定。セブンイレブンジャパン、日立製作所は今年から土日や授業後に参加しやすい夕方以降の回数を増やす。
一方、中小企業の中には、大手の採用活動が早めに一段落すれば、内定辞退者が出ても採用をやり直す期間に余裕ができることなどから、スケジュール変更を歓迎する声もある。

(就職活動のスケジュール:2017年卒)
3月:会社説明会解禁
6月:面接などの選考活動解禁
10月:正式な内定解禁

夫婦の5割 共働き(総務省:妻の収入、最高に、2015年10～12月)

夫婦がともに働く共働きの割合が、初めて5割に達した。総務省の労働力調査から判明した。子育てを終えた妻のパートなどが増えている。働く既婚女性の収入も最高となり、夫の収入減を補った。ただ若い世代の共働きの割合は伸び悩む。既婚者働き続けられるよう国や企業の取り組みが一段と重要になる。
総務省の2015年10～12月期の労働力調査によると、結婚世帯のうち夫婦がともに働いているか職を探している割合は50.0%と前年同期から0.6ポイント上がった。同じ基準で比較できる2002年1～3月期以降で最高だ。
共働きの割合が最も高いのは妻が45～54歳世代だ。2015年10～12月期で73.8%に達し、前年同期から1.8ポイント上昇。55～64歳でも50.3%と2.5ポイント上がった。
低成長で夫の収入が減るなか子育てが一段落した世帯で妻が働く例が増えている。家計調査によると共働き世帯の妻の月収は平均で4000円増の6万40000円と過去最高を記録。夫の収入が39万7000円と1000円減ったのを補った。
25～34歳の共働きの割合は60.6%と前年同期比で0.5ポイント上昇にとどまり、35～44歳は68.8%で横ばいだった。